

地域経済の景気予報／ひと目でわかる地元の景況・活況データベース

東・京

葛飾区

「見せる」「守る」を追求 展示用ケースに独自のワザ

細見工業(株)

「10歳の巻物をすべて開いて展示したい」。美術館や博物館用の展示ケースの製造を手がける細見工業には、そんな難題が持ち込まれる。「このときは展示物に近づいて鑑賞できる覗き型ケースをつなげて連結式のケースを作りました。展示用ケースの製造には「観る」「保存」「使う」という3つの視点が求められる。それをカタチにするのが当社のウデの見せどころです」と話すのは社長の細見大作さん(37歳)。

あるとき「展示物をなるべく宙に浮かせたように見せたい」というオーダーが。さっそく



同社工場で。「展示物より目立たず展示物を惹きたてるのがいい展示用ケース」と細見社長

く、細見社長はケース全体をガラス張りをし、展示台はアクリルに。そうすることで、まるで展示物が宙に浮いているような状態に。発注者もその発想にはビックリ、舌を巻いたそう。

長い経験とノウハウから生み出される同社の展示用ケースは、見やすさや安全性などさまざまな点に配慮して作られていて、まさに一級品です。全国各地の美術館、博物館で採用されているので、一度は目にしていると思います。町工場が多い葛飾区を代表する企業のひとつです。平成20年度の葛飾ブランド「葛飾町工場物語」にも認定されています。



葛飾区商工観光課 工業振興係 係長 増田晃一さん

「社長の自社採点における指標は、採点の目安として以下のような標準を設定しています。●企画開発力／市場ニーズにマッチした商品、製品の提案ができていないか。●営業力／営業先への定期訪問、必要な営業マンがいるか。営業エリアは活用されているか。●収益力／商売の規模、会社の事業規模の拡大はどうか。●収益力／投入資金に対する利益。●地域貢献力／地域貢献につながる事業を展開しているか。●人財力／事業を実施するための人材、中核となる人材のスキルは十分か。●責任性／オンラインファンクションの技術、商品、サービスにはあるか。●リサーチ力／市場のニーズをつかむ能力、ノウハウが蓄積されているか。●事業性／計画期間と数値目標の設定、その実行力。●リスクマネジメント力／自社の強みの弱みの把握ができていないか。」

多種多様なオーダーにも難なく応えられるのは「創業者である父が培ってきた技術のおかげ」と細見社長はいう。図面を素早くカタチにできる体制が整っているのが、難しいオーダーが入った場合でも「その場ですぐに作って試してみることができる」からだ。そこで現場とクライアントとの橋渡し役となるのが細見社長だ。細見社長はクライアントから図面を受け取ると、製

造可能かどうかを判断して図面を描き直す。だから、クライアント側のデザイナーとのぶつかり合いは日常茶飯事。「デザイナーの図面通りに作ってしまうと安全面で問題が出ることもある。デザイナーの意図を汲みながらカタチに仕上げていく」そう。

目下の課題は人材育成。「昔のように先輩の技を見て覚える時代ではなくなっている。ペテランの技を継承して現場を担える人材を育成することが今後の課題です」と。

社長の自社採点	
企画開発力★★★★☆	人材力★★★★☆
営業力★★★★☆	専門性★★★★★
成長力★★★★☆	リサーチ力★★★★☆
収益力★★★☆☆	計画性★★★★☆
地域貢献力★★★★☆	リスクマネジメント★★★★★

社長のひとこと

QRコード対応のケータイ電話でご覧いただけます。

会社概要
本社・東京都葛飾区小菅1-11-20 / ☎03-3838-2121 / 創業72年 / 資本金1000万円 / 年商3.5億円 / 従業員22名 http://www.hosomi-kogyo.co.jp/

Monthly コロンブス

発行：東方通信社
発売：(株)ティ・エー・シー企画
全国書店で毎月30日発売
販売価格：680円。



町おし 葛飾区
www.city.katsushika.tokyo.jp/
区のモノづくりをマンガで紹介
20年度「葛飾町工場物語」決定

区はすぐれた技や製品を持つ工場を葛飾ブランド「葛飾町工場物語」に認定している。このたび、H20年度の認定企業10社が決定した。選ばれた企業は「葛飾ブランド葛飾町工場物語」のHPでマンガ仕立てなどで紹介される。詳しくはHPで。

葛飾ブランド「葛飾町工場物語」についても掲載されました。